

# 決算補足資料（2019年3月期 第3四半期）

2019年2月4日 / 株式会社 シグマクシス（証券コード:6088）



## 2019年3月期 第3四半期決算概況

### サマリー (前年同期比)

● 連結売上高	96.0億円 (+15%)
● 経常利益	9.7億円 (+17%)
● 当期純利益	6.1億円 (+20%)

- 順調な採用活動により人員が増加しコンサルティングサービスが11%伸長、連結売上高は15%の増加
- 人員増に伴う採用費の増加は利益増の範囲内でコントロール
- 持分法投資利益と運用益の増加により、経常利益は17%増加
- 収益性向上に伴う繰延税金資産の回収可能性見直しによる繰入増により当期純利益は20%増加

## 2019年3月期 第3四半期連結P/L

単位:百万円	2017年度 3Q (4月～12月)	2018年度 3Q (4月～12月)	前年同期比		主な増減
			増減額	増減率	
売上高	8,338	9,606	+1,267	+15%	人員増によるコンサルティングサービスの増加
売上総利益	3,013	3,478	+464	+15%	
販管費	2,207	2,580	+373	+17%	採用費および人員増に伴う経費の増加
営業利益	806	897	+91	+11%	持分法投資利益と運用収益の増加
経常利益	830	975	+144	+17%	
当期純利益	510	612	+102	+20%	収益性向上に伴う繰延税金資産の回収可能性見直しによる繰入増

## キー・パフォーマンス・インデックス (KPI)

	2017年度 3Q	2018年度 3Q	対前年同期比
NSI*	93	95	+2pts
プロジェクト数	683	844	+24%
クライアント数	137	185	+35%
契約あたり売上(百万円)	12.2	11.4	-7%

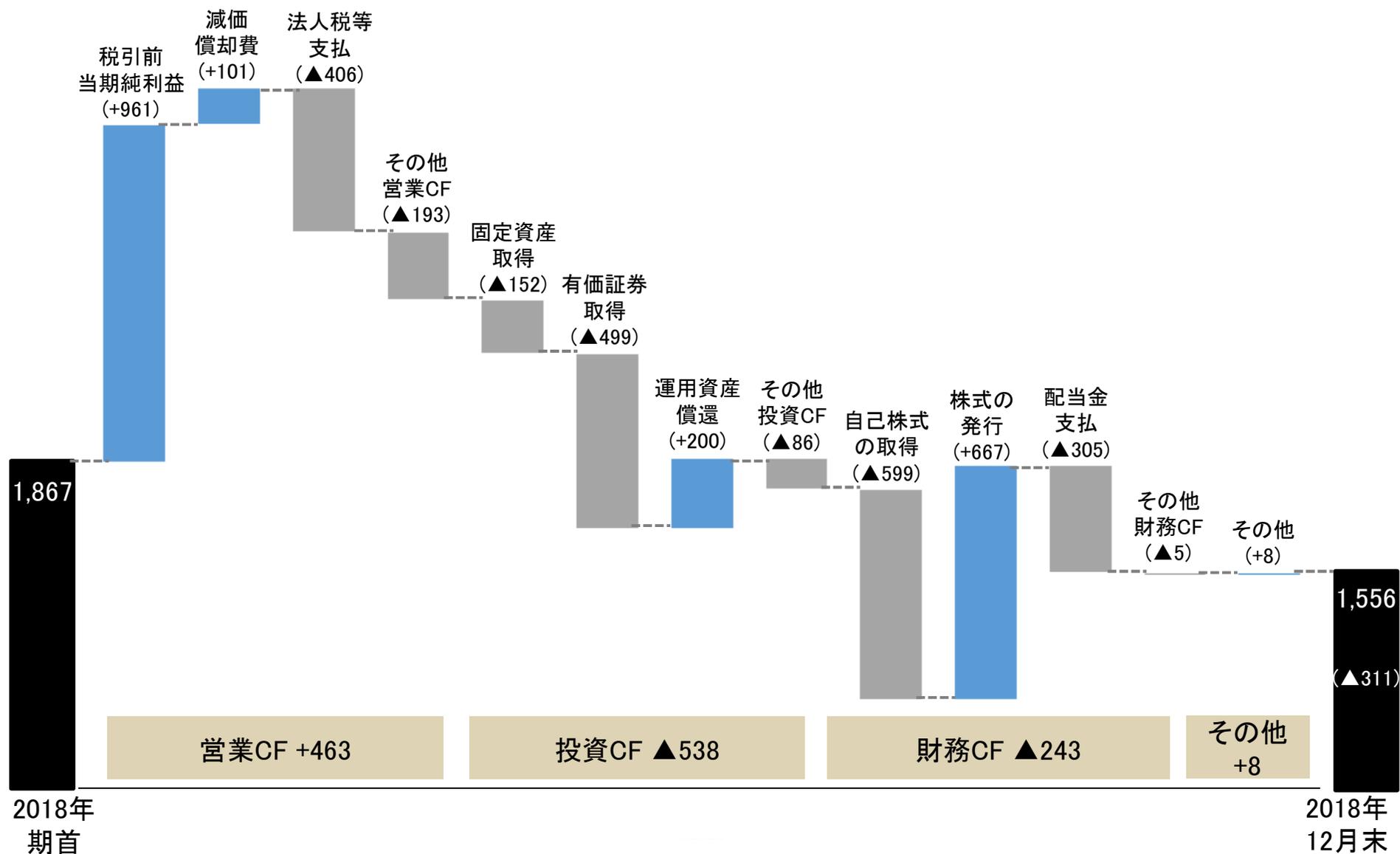
契約あたり売上の減少は、少額契約(ツールライセンス販売・研修)の増加による影響

\*NSI(Net Satisfaction Index) : プロジェクトのお客様満足度を調査し、100点満点(最低は0)に指数化したもの

## 連結貸借対照表の推移

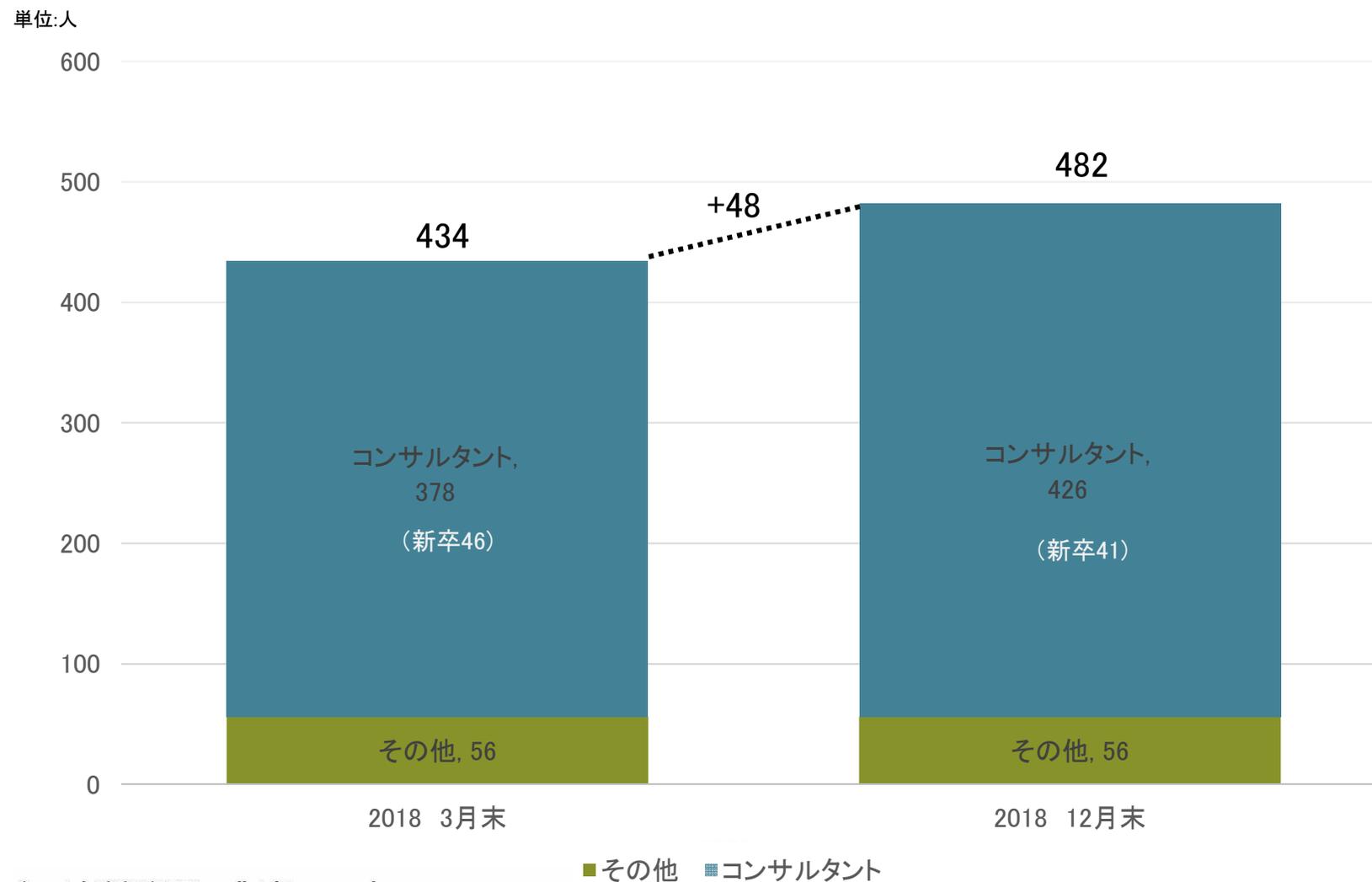
単位:百万円	2017年度	2018年度 3Q	対前期末	主な増減
流動資産	3,446	3,680	+234	自己株取得に伴う現預金の減少 配当金の支払による現預金の減少 投資有価証券の増加
現金及び預金等	1,867	1,556	▲311	
固定資産	2,240	2,710	+469	
資産合計	5,686	6,391	+704	
流動負債	1,324	1,439	+115	新株発行による資本金及び資本 剰余金の増加 当期純利益の計上 配当金の支払による減少
固定負債	460	601	+141	
負債合計	1,784	2,041	+256	
純資産	3,902	4,349	+447	
自己資本比率	69%	68%	▲1pts	

# 連結キャッシュフローの推移



# 連結従業員数

従業員数は新卒を中心に前年度末から48名(11%)増加



# トピックス (ERPのクラウド化)

既存ERPの保守サポートが切れる「2025年の崖」と言われる状況に対して、シグマクシスはERPのクラウド化をスムーズに実現するとともに、お客様の成長シナリオを描き、組織・業務の変革とチェンジマネジメントにも取り組むことにより、お客様の企業価値向上の成果が実現するまで支援いたします。

## ITに関する日本企業の現状

### 基幹システム

- 老朽化 (20年超利用: 現在2割、2025年6割)
- 事業部門単位 → 全社横断的データ活用が困難
- 過剰なカスタマイズ → 複雑化・ブラックボックス化

### IT予算

保守運用: バリューストックアップ = 8 : 2

### IT人財

基幹システムの保守運用にIT人財が割かれており、新技術獲得の足枷となっている

**このままだと2025年以降  
12兆円/年の経済損失※  
が生じる可能性がある**

2025年の崖

## 取り組むべきテーマ

基幹システムの  
クラウド化  
(業務の見直し)

+

デジタル  
トランスフォーメーション

※経済産業省レポート (平成30年9月7日) より

# 幅広いアライアンスネットワーク



## 事業投資先



株式会社MCデータプラス

資本参加: 2015年  
(三菱商事株式会社他とのJV)

国内最大級規模の建設業界向け  
クラウド型システムサービスの提供/  
ビッグデータを活用した新事業の  
企画・開発



株式会社サーラ  
ライフスタイルイノベーション

設立: 2017年  
(株式会社サーラコーポレーションとのJV)

サーラグループにおける  
マーケティング・プラットフォーム事業



ギリア株式会社

資本参加: 2018年  
(主な株主:  
株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究  
所、株式会社WiL、  
みずほFinTech投資事業有限責任組合)

AIソリューション事業



invest in wonder

株式会社SXキャピタル

資本・業務提携: 2016年

未公開ITベンチャー企業を対象とした  
投資事業組合等の財産運用および管理

2号ファンド投資先(抜粋)



東証JASDAQ



We are game changer



東証1部



MODEL & DESIGN YOUR BUSINESS



東証マザーズ



## LP(Limited Partner)出資

国内外のベンチャー企業とのネットワークを拡大するため、下記ファンドにLP(Limited Partner: 有限責任組合員)として参加しました。

【SXキャピタル】  SX Capital  
invest in wonder

資本業務提携先であるベンチャーキャピタルが立ち上げた3号ファンド。

IT関連およびITを活用したサービス領域のスタートアップ企業に投資を実行している。

目的:新規事業開発支援、経営支援など多様な形でベンチャー企業の成長支援を推進

【フレスコキャピタル】  Fresco

米ベンチャーキャピタルのフレスコキャピタルが立ち上げた、30億円規模の新ファンド。

Education(教育)、Future of Work(未来の働き方)、Health Care(健康管理)などのテーマを中心に、米国、欧州、アジアのスタートアップ企業に投資を実行している。

目的:海外ベンチャー企業とのネットワークを拡大し、日本企業の変革支援の能力・体制の強化

## 2018年度 連結業績予想

平成30年3月期 決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

単位:百万円	2018年度	対前期増減額	対前期増減率
売上高	12,400	+1,031	+9%
営業利益	1,250	+228	+22%
経常利益	1,250	+203	+19%
当期純利益	800	+177	+28%

## 配当方針

- 財務体質の強化及び将来の事業展開に備えるために必要な内部留保とのバランスを重視する。
- 安定かつ継続的な配当を行う。
  - － 2018年度の年間配当金は、昨年度から3円増の18円を予定

## 本資料の取り扱いについて

本資料は、シグマクスグループの事業および業界動向に加えて、現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまとっています。すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社シグマクスは、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、本資料作成時点において利用可能な情報に基づいて、株式会社シグマクスによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。



URL: [www.sigmaxyz.com](http://www.sigmaxyz.com)

問い合わせ先: [info@sigmaxyz.com](mailto:info@sigmaxyz.com)